

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道55号 あきどうろ 安芸道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸市伊尾木 至：高知県安芸市馬ノ丁				延長	5.8km
事業概要						
一般国道55号は、徳島市を起点に小松島市、阿南市、室戸市、安芸市、南国市などを経由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 一般国道55号安芸道路は、地域高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部の広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与する道路である。 また、南海トラフ地震などの災害発生時における緊急輸送道路の確保や、第三次医療施設までの速達性の向上、安芸市内の慢性的な渋滞の緩和、地域産業（農水産業）の活性化支援などを目的として整備を推進している。						
H24年度事業化		H23年度都市計画決定		H28年度用地着手		R1年度工事着手
全体事業費		約279億円		事業進捗率	約7%	供用済延長 0.0km
				(平成31年3月末時点)		
計画交通量		8,500～11,200台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 1.4 (残事業) 1.5		総費用 (残事業)／(事業全体) 217/243億円 事業費：200/227億円 維持管理費：16/16億円		総便益 (残事業)／(事業全体) 333/333億円 走行時間短縮便益：300/300億円 走行経費減少便益：22/22億円 交通事故減少便益：11/11億円	
						基準年 令和元年
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量変動：B/C= 1.1～1.6 (交通量 ±10%) (残事業) B/C= 1.3～1.8 (交通量 ±10%) 事業費変動：B/C= 1.3～1.5 (事業費 ±10%) B/C= 1.4～1.7 (事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C= 1.3～1.4 (事業期間±20%) B/C= 1.5～1.6 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
南海トラフ地震発生時における緊急輸送路の確保、第三次医療施設への速達性の向上、現道（国道55号）の渋滞緩和、地域産業（農水産業）の活性化を支援など多様な効果が期待できる。						
①円滑なモビリティの確保						
・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の旅行速度の向上が見込まれる ・現道等の混雑緩和による定時性の確保など路線バスの利便性向上が見込まれる ・JR後免駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる ・高知龍馬空港へのアクセス向上が見込まれる						
②物流効率化の支援						
・JA土佐あき安田支所唐浜集出荷場と高知園芸流通センター間の時間短縮が見込まれる ・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる						
③国土・地域ネットワークの構築						
・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる						
④個性ある地域の形成						
・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援 ・高知県東部地域への観光アクセス向上						
⑤安全で安心できるくらしの確保						
・三次医療施設（高知医療センター）への搬送時間が短縮し、60分圏域が拡大する						
⑥災害への備え						
・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる						

- ・ 国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する
- ・ 安芸道路は国道55号とともに第一次緊急輸送道路に指定されている
- ・ 南海トラフ地震発生時の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する

⑦地球環境の保全

- ・ CO2排出量の削減が見込まれる

⑧生活環境の改善・保全

- ・ NOX、SPM排出量の削減が見込まれる

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

・ 高知県安芸市議会、四国8の字ネットワーク整備促進東南部連盟、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。

高知県知事の意見

・ 事業継続に異議はありません。四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号安芸道路は、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、県東部地域において災害に強い道路ネットワークを構築し、発生の可能性が高まる南海トラフ地震をはじめ自然災害への備えを高めるために不可欠な道路です。これに加え、中芸地域の日本遺産をはじめとする重要な観光資源を活かした交流人口の拡大等にも資する重要な道路です。このため、国においては早期の開通に向け、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・ 平成25年2月	南国安芸道路（香南かがみIC-香南やすIC）	延長2.9km	2車線	開通
・ 平成26年3月	南国安芸道路（香南のいちIC-香南かがみIC）	延長2.2km	2車線	開通
・ 平成27年3月	高知南国道路（高知南IC-なんこく南IC）	延長4.7km	2車線	開通
・ 平成28年4月	高知南国道路（なんこく南IC-高知龍馬空港IC）	延長4.1km	2車線	開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 用地取得率約39%、事業進捗率約7%（平成31年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 早期開通を目指し、調査・設計、用地買収を推進するとともに、今年度より工事に着手する。

施設の構造や工法の変更等

・ 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・ 以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

元高土政第 446 号
令和元年 7 月 23 日

四国地方整備局長 様

高知県知事

四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

令和元年 7 月 16 日付け国四整企画第 14 号で照会のありましたことについて、別紙
のとおり回答します。

【道路事業】

○一般国道 55 号 安芸道路

意見：事業継続に異議はありません。

四国 8 の字ネットワークを構成する一般国道 55 号安芸道路は、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、県東部地域において災害に強い道路ネットワークを構築し、発生の可能性が高まる南海トラフ地震をはじめ自然災害への備えを高めるために不可欠な道路です。

これに加え、中芸地域の日本遺産をはじめとする貴重な観光資源を活かした交流人口の拡大等にも資する重要な道路です。

このため、国においては早期の開通に向け、より一層の事業進捗をお願いします。

(再評価)

様式－１ 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道55号 安芸道路
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(3便益)/(B/C)=1.4 (経済的純現在価値(B-C)=89億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.9%) 残事業:費用便益比(3便益)/(B/C)=1.5 (経済的純現在価値(B-C)=116億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティ の確保	● 現道等の年間時間損失及び削減率	時間損失削減量: 58万人時間/年 削減率: 86%
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道の旅行速度が最大14km/h向上
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	—
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道を利用する路線バス及び空港連絡バス、高速バス とさでん交通(路線バス、高速バス) 13便/日(往復) 高知東部交通(路線バス) 25便/日(往復)
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	JR御免駅(特急停車駅) 室戸市役所～JR御免駅 約24分短縮(107分⇒83分)
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高知龍馬空港(第二種空港) 室戸市役所～高知龍馬空港 約25分短縮(96分⇒71分)
	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	—
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	高知県東部の主な農産品: ゆず、なす 高知県東部の主な水産品: サバ、ブリ JA土佐あき安田支所唐浜集出荷場～園芸流通センター 約43分短縮(86分⇒43分)
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	—
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	—
物流効率化 の支援	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	—
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	—
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	—
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	—

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	都市の再生	☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	—
		☐ 中心市街地内で行う事業である	—
		☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	—
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	—
		☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	—
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	—
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路 阿南安芸自動車道の一部を構成
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	—
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	安芸市と高知市を最短時間で連絡する路線を構成
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	—
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	—
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	現道の混雑緩和により、アクセスが向上する
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	—
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	香南市・安芸市・室戸市：観光振興プロジェクト 北川村：ゆず振興プロジェクト 安芸市、室戸市：過疎地域自立促進プロジェクト
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	馬路温泉、モネの庭マルモッタン、室戸岬、室戸ジオパーク等 高知JCT～モネの庭マルモッタン 約46分短縮（101分⇒55分）
		☐ 特別立法に基づく事業である	—
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	—
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	—
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	—
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	—
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	—
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	—

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
2. 暮らし	安全で安心できる暮らしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	高知医療センター：60分圏カバー人口が約2000人増加 室戸市役所～高知医療センター 約43分短縮（121分⇒78分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	—
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	—
	災害への備え	■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	安芸市（人口約18,000人）
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	国道55号：第一次緊急輸送道路に指定 南海トラフの巨大地震発生時におけるルートの信頼性を確保
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現道である国道55号が浸水等により通行止めになった場合の代替路を形成
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	—
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検箇所 カルテ対応箇所（防災ランク2）：2箇所
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	—
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	—
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	—
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	—
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量の削減が見込まれる ・CO2排出削減量：1.0千t-CO2/年、CO2排出削減率：8.3%
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量：11.4t-NO2/年、NO2排出削減率：74%
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量：0.7t-SPM/年、SPM排出削減率：81%
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	—
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	—
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	—
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある	—
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	—
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	—

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道55号	安芸道路	L=5.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,500～11,200	2	四国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	255億円	48億円	304億円
うち残事業分	232億円	48億円	280億円
基準年における 現在価値 (C)	227億円	16億円	243億円
うち残事業分	200億円	16億円	217億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	完成供用：令和8年度			
単年便益 (初年便益)	20億円	1.5億円	0.73億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	300億円	22億円	11億円	333億円
うち残事業分	300億円	22億円	11億円	333億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	89億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.9%
費用便益比（残事業）	1.5
経済的純現在価値（残事業）	116億円
経済的内部収益率（残事業）	6.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,500～11,200	±10%	1.1～1.6
事業費	232億円	±10%	1.3～1.5
事業期間	14年	±20%	1.3～1.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,500～11,200	±10%	1.3～1.8
事業費	232億円	±10%	1.4～1.7
事業期間	6年	±20%	1.5～1.6

交通状況の変化
事業名：安芸道路

【事業全体】

様式－３①

(推計時点 R12年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [安芸道路] : 5.8km		交通量※ ¹	[台/日]	9,860	
		走行時間※ ²	[分]	4	
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	7.84	
②主な周 辺道路※ ⁴	国道55号 : 4.7km	交通量	[台/日]	15,091	7,962
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	33.17	11.40
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 36.5km		走行時間費用	[億円/年]	22.85	17.05

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 47.00km	走行時間短縮便益	[億円/年]	56.02	36.29	19.73

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化
事業名：安芸道路

【残事業】

様式－３①

(推計時点 R12年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [安芸道路] : 5.8km		交通量※ ¹	[台/日]	9,860	
		走行時間※ ²	[分]	4	
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	7.84	
②主な周 辺道路※ ⁴	国道55号 : 4.7km	交通量	[台/日]	15,091	7,962
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	33.17	11.40
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 36.5km		走行時間費用	[億円/年]	22.85	17.05

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 47.00km	走行時間短縮便益	[億円/年]	56.0	36.29	19.73

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：安芸道路

(2)

項目			チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)		☒		
	その他		☐		
分析の基本的事項	分析対象期間		50年		
	社会的割引率		4%		
	基準年次		令和元年		
交通 流 推 計	交通流の 推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)		
		複数時点での推計	☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載		
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐	
		その他()		☐	
	開発交通量の 考慮	無		☒	
		有		☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)		
			考慮した理由を記載		
	配分交通量の 推計手法	Q－V式を用いた配分		☐	
		転換率式を用いた配分		☐	
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐	
		簡易手法		☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である		☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない		☐
その他()					
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)					
速度設定の 考え方		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin～Qmax) 内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の 生ずる「加重平均速度」を用いた。				
	最終配分の速度		☐		
	採用理由を記載				
	その他()		☐		

便益の算定

16

費用の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：安芸道路

維持管理費の単価単価の算出（消費税相当額含む）

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
				0.18		5.8	1.06
-14年目	H 24	1.3159	99.0	0.95	1.30		
-13年目	H 25	1.2653	99.0	4.19	5.52		
-12年目	H 26	1.2167	101.5	1.41	1.74		
-11年目	H 27	1.1699	103.0	1.14	1.33		
-10年目	H 28	1.1249	102.8	1.85	2.08		
-9年目	H 29	1.0816	103.0	3.72	4.03		
-8年目	H 30	1.0400	103.0	4.39	4.57		
-7年目	R 1	1.0000	103.0	6.16	6.16		
-6年目	R 2	0.9615	103.0	12.14	11.67		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	46.69	43.17		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	58.69	52.17		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	48.56	41.51		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	39.93	32.82		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	25.57	20.21		
供用開始年次	R 8	0.7599	103.0			0.96	0.73
1年目	R 9	0.7307	103.0			0.96	0.70
2年目	R 10	0.7026	103.0			0.96	0.68
3年目	R 11	0.6756	103.0			0.96	0.65
4年目	R 12	0.6496	103.0			0.96	0.63
5年目	R 13	0.6246	103.0			0.96	0.60
6年目	R 14	0.6006	103.0			0.96	0.58
7年目	R 15	0.5775	103.0			0.96	0.56
8年目	R 16	0.5553	103.0			0.96	0.54
9年目	R 17	0.5339	103.0			0.96	0.51
10年目	R 18	0.5134	103.0			0.96	0.49
11年目	R 19	0.4936	103.0			0.96	0.48
12年目	R 20	0.4746	103.0			0.96	0.46
13年目	R 21	0.4564	103.0			0.96	0.44
14年目	R 22	0.4388	103.0			0.96	0.42
15年目	R 23	0.4220	103.0			0.96	0.41
16年目	R 24	0.4057	103.0			0.96	0.39
17年目	R 25	0.3901	103.0			0.96	0.38
18年目	R 26	0.3751	103.0			0.96	0.36
19年目	R 27	0.3607	103.0			0.96	0.35
20年目	R 28	0.3468	103.0			0.96	0.33
21年目	R 29	0.3335	103.0			0.96	0.32
22年目	R 30	0.3207	103.0			0.96	0.31
23年目	R 31	0.3083	103.0			0.96	0.30
24年目	R 32	0.2965	103.0			0.96	0.29
25年目	R 33	0.2851	103.0			0.96	0.27
26年目	R 34	0.2741	103.0			0.96	0.26
27年目	R 35	0.2636	103.0			0.96	0.25
28年目	R 36	0.2534	103.0			0.96	0.24
29年目	R 37	0.2437	103.0			0.96	0.23
30年目	R 38	0.2343	103.0			0.96	0.23
31年目	R 39	0.2253	103.0			0.96	0.22
32年目	R 40	0.2166	103.0			0.96	0.21
33年目	R 41	0.2083	103.0			0.96	0.20
34年目	R 42	0.2003	103.0			0.96	0.19
35年目	R 43	0.1926	103.0			0.96	0.19
36年目	R 44	0.1852	103.0			0.96	0.18
37年目	R 45	0.1780	103.0			0.96	0.17
38年目	R 46	0.1712	103.0			0.96	0.16
39年目	R 47	0.1646	103.0			0.96	0.16
40年目	R 48	0.1583	103.0			0.96	0.15
41年目	R 49	0.1522	103.0			0.96	0.15
42年目	R 50	0.1463	103.0			0.96	0.14
43年目	R 51	0.1407	103.0			0.96	0.14
44年目	R 52	0.1353	103.0			0.96	0.13
45年目	R 53	0.1301	103.0			0.96	0.13
46年目	R 54	0.1251	103.0			0.96	0.12
47年目	R 55	0.1203	103.0			0.96	0.12
48年目	R 56	0.1157	103.0			0.96	0.11
49年目	R 57	0.1112	103.0	-12.15	-1.35	0.96	0.11
合 計				243.23	226.93	48.18	16.37
単純事業費計				255.38		48.18	

注１）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注２）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

費用の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：安芸道路

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

				単価(億円)		延長(km)	単純価値(億円)
				0.18		5.8	1.06
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-6年目	R 2	0.9615	103.0	12.14	11.67		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	46.69	43.17		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	58.69	52.17		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	48.56	41.51		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	39.93	32.82		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	25.57	20.21		
供用開始年次	R 8	0.7599	103.0			0.96	0.73
1年目	R 9	0.7307	103.0			0.96	0.70
2年目	R 10	0.7026	103.0			0.96	0.68
3年目	R 11	0.6756	103.0			0.96	0.65
4年目	R 12	0.6496	103.0			0.96	0.63
5年目	R 13	0.6246	103.0			0.96	0.60
6年目	R 14	0.6006	103.0			0.96	0.58
7年目	R 15	0.5775	103.0			0.96	0.56
8年目	R 16	0.5553	103.0			0.96	0.54
9年目	R 17	0.5339	103.0			0.96	0.51
10年目	R 18	0.5134	103.0			0.96	0.49
11年目	R 19	0.4936	103.0			0.96	0.48
12年目	R 20	0.4746	103.0			0.96	0.46
13年目	R 21	0.4564	103.0			0.96	0.44
14年目	R 22	0.4388	103.0			0.96	0.42
15年目	R 23	0.4220	103.0			0.96	0.41
16年目	R 24	0.4057	103.0			0.96	0.39
17年目	R 25	0.3901	103.0			0.96	0.38
18年目	R 26	0.3751	103.0			0.96	0.36
19年目	R 27	0.3607	103.0			0.96	0.35
20年目	R 28	0.3468	103.0			0.96	0.33
21年目	R 29	0.3335	103.0			0.96	0.32
22年目	R 30	0.3207	103.0			0.96	0.31
23年目	R 31	0.3083	103.0			0.96	0.30
24年目	R 32	0.2965	103.0			0.96	0.29
25年目	R 33	0.2851	103.0			0.96	0.27
26年目	R 34	0.2741	103.0			0.96	0.26
27年目	R 35	0.2636	103.0			0.96	0.25
28年目	R 36	0.2534	103.0			0.96	0.24
29年目	R 37	0.2437	103.0			0.96	0.23
30年目	R 38	0.2343	103.0			0.96	0.23
31年目	R 39	0.2253	103.0			0.96	0.22
32年目	R 40	0.2166	103.0			0.96	0.21
33年目	R 41	0.2083	103.0			0.96	0.20
34年目	R 42	0.2003	103.0			0.96	0.19
35年目	R 43	0.1926	103.0			0.96	0.19
36年目	R 44	0.1852	103.0			0.96	0.18
37年目	R 45	0.1780	103.0			0.96	0.17
38年目	R 46	0.1712	103.0			0.96	0.16
39年目	R 47	0.1646	103.0			0.96	0.16
40年目	R 48	0.1583	103.0			0.96	0.15
41年目	R 49	0.1522	103.0			0.96	0.15
42年目	R 50	0.1463	103.0			0.96	0.14
43年目	R 51	0.1407	103.0			0.96	0.14
44年目	R 52	0.1353	103.0			0.96	0.13
45年目	R 53	0.1301	103.0			0.96	0.13
46年目	R 54	0.1251	103.0			0.96	0.12
47年目	R 55	0.1203	103.0			0.96	0.12
48年目	R 56	0.1157	103.0			0.96	0.11
49年目	R 57	0.1112	103.0	-10.80	-1.20	0.96	0.11
合 計				220.77	200.35	48.18	16.37
単純事業費計				231.57		48.18	

注１）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 （投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注２）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：安芸道路

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)			合計 (億円)	
		R 1	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 8	0.99518	0.98376	1.00167	0.99379	0.7599	103.0	11.62	5.17	3.49	20.27	15.41	1.05	0.25	0.21	1.51	1.14	0.73	0.55	22.51	17.10	
1年目	R 9	0.99515	0.98349	1.00166	0.99375	0.7307	103.0	11.56	5.09	3.49	20.14	14.71	1.05	0.24	0.21	1.50	1.09	0.72	0.53	22.36	16.34	
2年目	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7026	103.0	11.50	5.00	3.50	20.00	14.05	1.04	0.24	0.21	1.49	1.05	0.72	0.51	22.21	15.60	
3年目	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	11.45	4.92	3.50	19.87	13.42	1.04	0.23	0.21	1.48	1.00	0.71	0.48	22.06	14.90	
4年目	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	11.39	4.83	3.51	19.73	12.82	1.03	0.23	0.21	1.47	0.95	0.71	0.46	21.91	14.23	
5年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	11.28	4.79	3.50	19.57	12.22	1.02	0.23	0.21	1.46	0.91	0.70	0.44	21.73	13.57	
6年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	11.17	4.75	3.49	19.41	11.66	1.01	0.23	0.21	1.45	0.87	0.70	0.42	21.55	12.94	
7年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	11.06	4.70	3.48	19.25	11.12	1.00	0.22	0.21	1.43	0.83	0.69	0.40	21.37	12.34	
8年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	10.95	4.66	3.47	19.09	10.60	0.99	0.22	0.21	1.42	0.79	0.69	0.38	21.19	11.77	
9年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	10.84	4.62	3.46	18.93	10.10	0.98	0.22	0.21	1.41	0.75	0.68	0.36	21.01	11.22	
10年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	10.74	4.58	3.45	18.76	9.63	0.97	0.22	0.21	1.40	0.72	0.67	0.35	20.83	10.70	
11年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	10.63	4.54	3.44	18.60	9.18	0.96	0.22	0.21	1.38	0.68	0.67	0.33	20.65	10.19	
12年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	10.52	4.49	3.43	18.44	8.75	0.95	0.21	0.21	1.37	0.65	0.66	0.31	20.47	9.72	
13年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	10.41	4.45	3.42	18.28	8.34	0.94	0.21	0.20	1.36	0.62	0.66	0.30	20.29	9.26	
14年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	10.30	4.41	3.41	18.12	7.95	0.93	0.21	0.20	1.35	0.59	0.65	0.28	20.11	8.83	
15年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	10.19	4.37	3.40	17.96	7.58	0.92	0.21	0.20	1.33	0.56	0.64	0.27	19.94	8.41	
16年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	10.08	4.33	3.39	17.80	7.22	0.91	0.21	0.20	1.32	0.54	0.64	0.26	19.76	8.01	
17年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	9.97	4.28	3.38	17.64	6.88	0.90	0.20	0.20	1.31	0.51	0.63	0.25	19.58	7.64	
18年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	9.86	4.24	3.37	17.48	6.56	0.89	0.20	0.20	1.30	0.49	0.62	0.23	19.40	7.28	
19年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	103.0	9.75	4.20	3.36	17.32	6.25	0.88	0.20	0.20	1.28	0.46	0.62	0.22	19.22	6.93	
20年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3468	103.0	9.65	4.16	3.35	17.15	5.95	0.87	0.20	0.20	1.27	0.44	0.61	0.21	19.04	6.60	
21年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3335	103.0	9.54	4.12	3.34	16.99	5.67	0.86	0.20	0.20	1.26	0.42	0.61	0.20	18.86	6.29	
22年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3207	103.0	9.43	4.08	3.33	16.83	5.40	0.85	0.19	0.20	1.25	0.40	0.60	0.19	18.68	5.99	
23年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3083	103.0	9.32	4.03	3.32	16.67	5.14	0.84	0.19	0.20	1.23	0.38	0.59	0.18	18.50	5.70	
24年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.2965	103.0	9.21	3.99	3.31	16.51	4.90	0.83	0.19	0.20	1.22	0.36	0.59	0.17	18.32	5.43	
25年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2851	103.0	9.10	3.95	3.30	16.35	4.66	0.82	0.19	0.20	1.21	0.34	0.58	0.17	18.14	5.17	
26年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2741	103.0	8.99	3.91	3.29	16.19	4.44	0.81	0.19	0.20	1.20	0.33	0.58	0.16	17.96	4.92	
27年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2636	103.0	8.88	3.87	3.28	16.03	4.23	0.80	0.18	0.20	1.18	0.31	0.57	0.15	17.78	4.69	
28年目	R 36	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2534	103.0	8.77	3.82	3.27	15.87	4.02	0.79	0.18	0.20	1.17	0.30	0.56	0.14	17.60	4.46	
29年目	R 37	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2437	103.0	8.66	3.78	3.26	15.71	3.83	0.78	0.18	0.20	1.16	0.28	0.56	0.14	17.42	4.25	
30年目	R 38	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2343	103.0	8.55	3.74	3.25	15.55	3.64	0.77	0.18	0.19	1.15	0.27	0.55	0.13	17.24	4.04	
31年目	R 39	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2253	103.0	8.45	3.70	3.24	15.38	3.47	0.76	0.18	0.19	1.13	0.26	0.55	0.12	17.06	3.84	
32年目	R 40	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2166	103.0	8.34	3.66	3.23	15.22	3.30	0.75	0.17	0.19	1.12	0.24	0.54	0.12	16.88	3.66	
33年目	R 41	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2083	103.0	8.23	3.61	3.22	15.06	3.14	0.74	0.17	0.19	1.11	0.23	0.53	0.11	16.70	3.48	
34年目	R 42	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2003	103.0	8.12	3.57	3.21	14.90	2.98	0.73	0.17	0.19	1.10	0.22	0.53	0.11	16.52	3.31	
35年目	R 43	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.1926	103.0	8.01	3.53	3.20	14.74	2.84	0.72	0.17	0.19	1.08	0.21	0.52	0.10	16.35	3.15	
36年目	R 44	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1852	103.0	7.90	3.49	3.19	14.58	2.70	0.71	0.17	0.19	1.07	0.20	0.51	0.10	16.17	2.99	
37年目	R 45	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1780	103.0	7.79	3.45	3.18	14.42	2.57	0.70	0.16	0.19	1.06	0.19	0.51	0.09	15.99	2.85	
38年目	R 46	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1712	103.0	7.68	3.40	3.17	14.26	2.44	0.69	0.16	0.19	1.05	0.18	0.50	0.09	15.81	2.71	
39年目	R 47	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1646	103.0	7.57	3.36	3.16	14.10	2.32	0.68	0.16	0.19	1.03	0.17	0.50	0.08	15.63	2.57	
40年目	R 48	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1583	103.0	7.46	3.32	3.15	13.94	2.21	0.68	0.16	0.19	1.02	0.16	0.49	0.08	15.45	2.45	
41年目	R 49	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1522	103.0	7.36	3.28	3.14	13.78	2.10	0.67	0.16	0.19	1.01	0.15	0.48	0.07	15.27	2.32	
42年目	R 50	0.98518	0.98721	0.99683	0.98739	0.1463	103.0	7.25	3.24	3.13	13.61	1.99	0.66	0.15	0.19	1.00	0.15	0.48	0.07	15.09	2.21	
43年目	R 51	0.98495	0.98704	0.99682	0.98722	0.1407	103.0	7.14	3.19	3.12	13.45	1.89	0.65	0.15	0.19	0.98	0.14	0.47	0.07	14.91	2.10	
44年目	R 52	0.98472	0.98687	0.99681	0.98706	0.1353	103.0	7.03	3.15	3.11	13.29	1.80	0.64	0.15	0.19	0.97	0.13	0.47	0.06	14.73	1.99	
45年目	R 53	0.98449	0.98670	0.99680	0.98689	0.1301	103.0	6.92	3.													

便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：安芸道路

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)			合計 (億円)	
		R 1	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 8	0.99518	0.98376	1.00167	0.99379	0.7599	103.0	11.62	5.17	3.49	20.27	15.41	1.05	0.25	0.21	1.51	1.14	0.73	0.55	22.51	17.10	
1年目	R 9	0.99515	0.98349	1.00166	0.99375	0.7307	103.0	11.56	5.09	3.49	20.14	14.71	1.05	0.24	0.21	1.50	1.09	0.72	0.53	22.36	16.34	
2年目	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7026	103.0	11.50	5.00	3.50	20.00	14.05	1.04	0.24	0.21	1.49	1.05	0.72	0.51	22.21	15.60	
3年目	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	11.45	4.92	3.50	19.87	13.42	1.04	0.23	0.21	1.48	1.00	0.71	0.48	22.06	14.90	
4年目	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	11.39	4.83	3.51	19.73	12.82	1.03	0.23	0.21	1.47	0.95	0.71	0.46	21.91	14.23	
5年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	11.28	4.79	3.50	19.57	12.22	1.02	0.23	0.21	1.46	0.91	0.70	0.44	21.73	13.57	
6年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	11.17	4.75	3.49	19.41	11.66	1.01	0.23	0.21	1.45	0.87	0.70	0.42	21.55	12.94	
7年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	11.06	4.70	3.48	19.25	11.12	1.00	0.22	0.21	1.43	0.83	0.69	0.40	21.37	12.34	
8年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	10.95	4.66	3.47	19.09	10.60	0.99	0.22	0.21	1.42	0.79	0.69	0.38	21.19	11.77	
9年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	10.84	4.62	3.46	18.93	10.10	0.98	0.22	0.21	1.41	0.75	0.68	0.36	21.01	11.22	
10年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	10.74	4.58	3.45	18.76	9.63	0.97	0.22	0.21	1.40	0.72	0.67	0.35	20.83	10.70	
11年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	10.63	4.54	3.44	18.60	9.18	0.96	0.22	0.21	1.38	0.68	0.67	0.33	20.65	10.19	
12年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	10.52	4.49	3.43	18.44	8.75	0.95	0.21	0.21	1.37	0.65	0.66	0.31	20.47	9.72	
13年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	10.41	4.45	3.42	18.28	8.34	0.94	0.21	0.20	1.36	0.62	0.66	0.30	20.29	9.26	
14年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	10.30	4.41	3.41	18.12	7.95	0.93	0.21	0.20	1.35	0.59	0.65	0.28	20.11	8.83	
15年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	10.19	4.37	3.40	17.96	7.58	0.92	0.21	0.20	1.33	0.56	0.64	0.27	19.94	8.41	
16年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	10.08	4.33	3.39	17.80	7.22	0.91	0.21	0.20	1.32	0.54	0.64	0.26	19.76	8.01	
17年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	9.97	4.28	3.38	17.64	6.88	0.90	0.20	0.20	1.31	0.51	0.63	0.25	19.58	7.64	
18年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	9.86	4.24	3.37	17.48	6.56	0.89	0.20	0.20	1.30	0.49	0.62	0.23	19.40	7.28	
19年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	103.0	9.75	4.20	3.36	17.32	6.25	0.88	0.20	0.20	1.28	0.46	0.62	0.22	19.22	6.93	
20年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3468	103.0	9.65	4.16	3.35	17.15	5.95	0.87	0.20	0.20	1.27	0.44	0.61	0.21	19.04	6.60	
21年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3335	103.0	9.54	4.12	3.34	16.99	5.67	0.86	0.20	0.20	1.26	0.42	0.61	0.20	18.86	6.29	
22年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3207	103.0	9.43	4.08	3.33	16.83	5.40	0.85	0.19	0.20	1.25	0.40	0.60	0.19	18.68	5.99	
23年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3083	103.0	9.32	4.03	3.32	16.67	5.14	0.84	0.19	0.20	1.23	0.38	0.59	0.18	18.50	5.70	
24年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.2965	103.0	9.21	3.99	3.31	16.51	4.90	0.83	0.19	0.20	1.22	0.36	0.59	0.17	18.32	5.43	
25年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2851	103.0	9.10	3.95	3.30	16.35	4.66	0.82	0.19	0.20	1.21	0.34	0.58	0.17	18.14	5.17	
26年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2741	103.0	8.99	3.91	3.29	16.19	4.44	0.81	0.19	0.20	1.20	0.33	0.58	0.16	17.96	4.92	
27年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2636	103.0	8.88	3.87	3.28	16.03	4.23	0.80	0.18	0.20	1.18	0.31	0.57	0.15	17.78	4.69	
28年目	R 36	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2534	103.0	8.77	3.82	3.27	15.87	4.02	0.79	0.18	0.20	1.17	0.30	0.56	0.14	17.60	4.46	
29年目	R 37	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2437	103.0	8.66	3.78	3.26	15.71	3.83	0.78	0.18	0.20	1.16	0.28	0.56	0.14	17.42	4.25	
30年目	R 38	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2343	103.0	8.55	3.74	3.25	15.55	3.64	0.77	0.18	0.19	1.15	0.27	0.55	0.13	17.24	4.04	
31年目	R 39	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2253	103.0	8.45	3.70	3.24	15.38	3.47	0.76	0.18	0.19	1.13	0.26	0.55	0.12	17.06	3.84	
32年目	R 40	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2166	103.0	8.34	3.66	3.23	15.22	3.30	0.75	0.17	0.19	1.12	0.24	0.54	0.12	16.88	3.66	
33年目	R 41	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2083	103.0	8.23	3.61	3.22	15.06	3.14	0.74	0.17	0.19	1.11	0.23	0.53	0.11	16.70	3.48	
34年目	R 42	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2003	103.0	8.12	3.57	3.21	14.90	2.98	0.73	0.17	0.19	1.10	0.22	0.53	0.11	16.52	3.31	
35年目	R 43	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.1926	103.0	8.01	3.53	3.20	14.74	2.84	0.72	0.17	0.19	1.08	0.21	0.52	0.10	16.35	3.15	
36年目	R 44	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1852	103.0	7.90	3.49	3.19	14.58	2.70	0.71	0.17	0.19	1.07	0.20	0.51	0.10	16.17	2.99	
37年目	R 45	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1780	103.0	7.79	3.45	3.18	14.42	2.57	0.70	0.16	0.19	1.06	0.19	0.51	0.09	15.99	2.85	
38年目	R 46	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1712	103.0	7.68	3.40	3.17	14.26	2.44	0.69	0.16	0.19	1.05	0.18	0.50	0.09	15.81	2.71	
39年目	R 47	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1646	103.0	7.57	3.36	3.16	14.10	2.32	0.68	0.16	0.19	1.03	0.17	0.50	0.08	15.63	2.57	
40年目	R 48	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1583	103.0	7.46	3.32	3.15	13.94	2.21	0.68	0.16	0.19	1.02	0.16	0.49	0.08	15.45	2.45	
41年目	R 49	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1522	103.0	7.36	3.28	3.14	13.78	2.10	0.67	0.16	0.19	1.01	0.15	0.48	0.07	15.27	2.32	
42年目	R 50	0.98518	0.98721	0.99683	0.98739	0.1463	103.0	7.25	3.24	3.13	13.61	1.99	0.66	0.15	0.19	1.00	0.15	0.48	0.07	15.09	2.21	
43年目	R 51	0.98495	0.98704	0.99682	0.98722	0.1407	103.0	7.14	3.19	3.12	13.45	1.89	0.65	0.15	0.19	0.98	0.14	0.47	0.07	14.91	2.10	
44年目	R 52	0.98472	0.98687	0.99681	0.98706	0.1353	103.0	7.03	3.15	3.11	13.29	1.80	0.64	0.15	0.19	0.97	0.13	0.47	0.06	14.73	1.99	
45年目	R 53	0.98449	0.98670	0.99680	0.98689	0.1301	103.0	6.92														

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	安芸道路	2	5.8km

■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,520	
	改良費				4,209	
	土工	m3	766,311	390	切土(150,379m3)、盛土(615,932m3)	
	軟弱地盤改良工	m2	5,500	400		
	法面工	m2	42,551	22	切土法面、盛土法面	
	擁壁工	式	1	1,644	補強土壁、重力式擁壁等	
	管渠工	m	75	5		
	函渠工	m	563	532		
	排水工	m	16,958	616		
	中央分離帯工	m	3,589	315		
	雑工	式	1	285	擁壁工、側道舗装	
	橋梁費				8,058	
	100m以上	m	1,163	7,292	鋼橋3橋	
	100m未満	m	123	766	鋼橋2橋	
	トンネル費				6,319	
	NATM	m	1,115	6,319	1本	
	シールド	m	-	-		
	IC・JCT費				869	
	IC	箇所	2	869	ダイヤモンド型フル(1)、ダイヤモンド型ハーフ(1)	
	JCT	箇所	-	-		
	舗装費				880	
	車道舗装	m2	60,900	880		
	歩道舗装	m2	-	-		
	付帯施設費				185	
	交通管理施設工	式	1	185	標識工、防護柵工、道路照明等	
	遮音壁	m	-	-		
②用地及補償費					3,427	
	用地費		m2	157,830	1,215	
	宅地	m2	10,774	216		
	田畑	m2	128,170	989		
	山林・原野	m2	18,886	10		
	補償費		式	1	2,212	
③間接経費			式	1	3,974	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					27,921	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	安芸道路	2	5.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,284	
	改良費				4,173	
		土工	m3	766,311	390	切土(150,379m3)、盛土(615,932m3)
		軟弱地盤改良工	m2	5,500	400	
		法面工	m2	42,551	22	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,644	補強土壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	75	5	
		函渠工	m	563	532	
		排水工	m	16,958	616	
		中央分離帯工	m	3,589	315	
		雑工	式	1	249	擁壁工、側道舗装
	橋梁費				7,858	
		100m以上	m	1,163	7,092	鋼橋3橋
		100m未満	m	123	766	鋼橋2橋
	トンネル費				6,319	
		NATM	m	1,115	6,319	1本
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				869	
		IC	箇所	2	869	ダイヤモンド型フル(1)、ダイヤモンド型ハーフ(1)
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				880	
		車道舗装	m2	60,900	880	
		歩道舗装	m2	-	-	
	付帯施設費				185	
		交通管理施設工	式	1	185	標識工、防護柵工、道路照明等
遮音壁		m	-	-		
②用地及補償費				3,176		
	用地費	m2	133,449	1,080		
		宅地	m2	10,228	208	
		田畑	m2	108,304	864	
		山林・原野	m2	14,917	8	
	補償費	式	1	2,096		
③間接経費		式	1	1,905	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				25,365		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	安芸道路	2	5.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.8	950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,350	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,300	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。